

レンが、はかせの子犬をさん歩させているよ。

★つぎのお話を読んで、「かたかな」で書くのじ「ひらがな」になっている  
ことばを六つさがして、——線を引よう。引いたら、左の□に  
かたかなで書き直そう。

レンと子犬がさん歩をしていると、とつぜん、  
がしゃあん！

と音がして、黒いふくをきて、へるめつとをかぶった

男がへいをとびこえてきました。

「わんわん！」

子犬がびっくりして、ほえました。

男は、おうとばいにのろうとしています。

そこへ、かりんが走ってきました。

「どろぼうー ゆびわをかえしてー」

とつさに、レンはへいに立てかけられていた長いはしごをねかせて、  
道をふさぎました。道のはんたいがわは、行き止まりです。

男は、はしごをどけにおりてきました。

そこへ、ぱとかあが通りかかりました。

男は、けいさつかんにつかまりました。

「レン、ありがとう。ゆびわはお母さんの友だちのえりぎべすさんのものなの。  
かりんが、え顔で言いました。」


